



稲刈り前に秋冬野菜の 病害虫防除に努めましょう!

秋田地区営農センター 係長 熊地 聡

● 秋冬キャベツ

防除のポイント

稲刈り時期になると防除作業が後手になりがちで、気付いたときには虫食いだらけの場合があります。稲刈り作業に入る前に、効果が長い農薬を使用しましょう。

1. 稲刈り前は、「防除薬剤+BT薬剤」(例:アフーム乳剤+ゼンターリ顆粒水和剤)
2. 稲刈り直前は、「農薬の効果が長い薬剤」(例:フェニックス顆粒水和剤)

※BT薬剤:天敵微生物を利用した生物農薬の一種。(BT=Bacillus thuringiensis)

● 秋冬長ねぎ

さび病

【特徴】

低温時の病害で、結露しやすい9月中旬頃から発病が目立ちます。肥料過多の条件で多発しやすく、赤褐色の斑点病斑で、品質低下を招きます。



【防除ポイント】

発病前に防除を徹底してください。稲刈り前(9月中旬)と稲刈り後(10月上旬)に散布しましょう。

アザミウマ類

【特徴】

圃場内で増殖します。卵→幼虫→成虫の世代交代が活発となります。

【防除ポイント】

急増期(7月下旬)から稲刈り前後に効果の高い農薬を散布します。定期的な防除に徹し、農薬の効果が切れる前に次の防除をしましょう。



稲刈り前後の防除例

9月

10月

11月

防除例
オンリーワンフロアブル(さび)
+
ハチハチ乳剤(ネギアザミウマ)

防除

稲刈り

防除

秋冬長ねぎ収穫

防除例
アミスター20フロアブル(さび)
+ デイアナSC(ネギアザミウマ)